

「ナノバイオテクノロジー研究：細胞制御とバイオマーカー」

(小泉淳一代表)

本プロジェクトは学内の三部局から結集した研究組織のもと、既存のナノ技術のバイオへの応用に加え、ストレスをコア概念としてバイオメディカル科学への貢献と新分野創出を目指すことを目的としています。2月には所属メンバーの有志で学長裁量経費を獲得し、横浜ベイシェラトンホテルにて、異分野融合ナノテクノロジー横浜コロキウム「ナノテクノロジーの医療への挑戦」を開催しました。このコロキウムはバイオ・医療関連ナノテクノロジーに関わる国内の一級の専門家による基調講演をもとに、本学のナノ技術専門家と相互に議論を深め、横浜を中心とした新しい分野融合のナノテクノロジー発展の基礎を築くことをねらいとして行ったものです。物理、化学、医学を基盤とする5人の招待者の講演に続き、我々実行委員がモレーターとして議論の流れを作り発展させていきました。磁性ナノ粒子の医学応用、再生医療、健康科学などをキーワードに、会場からの質問やコメントも取り入れ、有意義な意見交換の機会を持つことができました。参加者は150名を超え、会場は熱気に包まれていました。研究者や企業からの来場者のほか、大学院生や学部生も参加し、普段は聴けることのない貴重な体験に目を輝かせていました。本コロキウムをきっかけに本学と周辺領域における共同研究が発展する感触を得ることができました。



異分野融合ナノテクノロジー横浜コロキウム